

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'95

夏季

号【7・8月合併号】

ヴァレンティン・エルベン
チェロ・リサイタル

好評前売中



剣岳



いまを話す

川崎市防災会議地震専門部会委員
激震は必ずくる！ 太田 裕さん
川崎の防災は行政△、市民は×

Stage Up 夏季 号もくじ/1995年

● ほんねインタビュー いまを話す	9
市防災会議地震専門部会委員 元東京大学教授 太田 裕さん	
川崎にも激震は必ず来る！ 防災対策は行政が△、市民は×	
◆ はりきってます グループ紹介	8
「気軽に全身運動」の 幸パドルテニスクラブ(幸区)	
● 学習文化情報	9
「初めてふれるパソコン講座I」 受講者募集	
新人音楽会オーディション	10
ヴァレンティン・エルベン・チエロリサイトル	
前売り中	11
当事業団施設使用料改定	12
E・オブラストゥォワ公演	14
● KCP(神奈川クラシックプレイヤーズ)	
サマーコンサート	
● ゆりがおか児童合唱団定期演奏会	15
◎ 表紙絵…………… 剣 岳	
…………… 田中 保さん	

(小誌は再生紙を使用しています)

〈見て ふれて 体験しませんか〉

川崎市とどろきアリーナ 8月1日オープン!!

中原区等ワカ緑地に地下1階、地上4階の国際級スポーツ施設「とどろきアリーナ」が8月1日、オープンします。

メインアリーナは、スポーツの他にコンサート、集会などが開催でき、サブアリーナは、競技用フロアやトレーニングルーム、サウナ、体育室、体力測定室などがあります。

8月2日(水)、3日(木)、4日(金) 午前10時～午後8時、市民に無料開放

★メインアリーナ、サブアリーナで、バドミントン、卓球、バスケットボールなどを楽しみましょう。

★トレーニングルームの運動機器で、体にいい汗かきましょう。

(4日はグループ・団体でおいでください)

8月5日からの一般貸し出しは、7月17日(月)午前9時から申し込み受け付け開始。

(申し込み多数の場合は抽選)

★メインアリーナは1年前から、サブアリーナは6カ月前から、その他は3カ月前から予約を受け付けます。

◆
** オープニングイベント・8月26日(土) 男子バレーボール日本対ロシア **

※とどろきアリーナについてのお問い合わせは ☎(798) 5000 まで。

いまを話す

ゲスト

川崎市防災会議
地震専門部会委員

太田 裕 さん

Vol.36

阪神大震災から半年
から川崎の防災は行政△、市民×
激震は必ずくる！

阪神大震災から半年。「川崎市の防災は行政がいま一步、市民はまだだまだ」。市防災会議地震専門部会委員で、元東大教授の太田裕さんはこう採点する。震災直後、市内全域の震度分布や被害状況、災害応急対策指針を出力する川崎市の「震災対策支援システム」は世界に誇れるものなのになぜ？。「防災には高い専門性が必要だが専門職はゼロ。人事異動が多く仕事の継続性、行政内部の横断性とも不十分。市民の自主防災組織率九〇％も実態が伴っていない」が理由。自らも被災経験者で、震災直後の対応の重要性を力説。「大地震は必ずくる。建物は建て替えられても人命は取り返せない。官も民も万全の準備と体制を」。インタビューは椎野和枝さん。

——阪神大震災から半年。あの時、実家が京都なので私の心の中で激震が走りました。

太田さん 大地震に衝撃を受け、皆さんが地震への認識を深めたと思いますが、時間が経ち「首都圏には当分こない。あの地震は神戸の問題」と、心の片隅で考えた人もいたのではないのでしょうか。

——でも、防災意識が薄れかかった矢先の四月に新潟、静岡で地震が起きましたね。

太田さん ええ、それで「自分のすぐ近くに火が付きだしたぞ」

という感じになった(苦笑い)。

——正直、ドキツとしました。近いうちに関東周辺で、震度7の地震があるのでしょうか。

太田さん そう簡単に地震予知はできないんです。けれど震度6から7の地震がくる、と覚悟しておくべきです。人生八十年、一生の間に激しい地震に遭遇する可能性は間違いなく「イエス」です。

——イエスですか。その根拠は。太田さん 過去に起きた大地震が再び起こる可能性と、活断層の活動懸念からです。これらについて川崎市はある程度の対策を行っています。市が近い将来の発生を想定しているのは「東海地震」、東京湾周辺での「近距離地震」、関東大震災の再来の「南関東地震」の三つです。

——阪神大震災で「安全神話」が崩れ、強い不安を感じています。太田さん 安全神話はマスコミが作った言葉でして、国民に誤解を与えているようです。専門家は安全を明言はしていません。

——地震被害についての基本的な考えをお聞かせ下さい。

太田さん 地震被害のとらえ方ですが、建物は建て直しができて

人命第一の対策 急がねば地獄に



阪神大震災で倒壊した神戸の民家(市防災対策室提供)

なくなった以外は、百人を超える死者は出ていなかったのです。

改めて阪神大震災の犠牲者の多さに慄然とさせられます。技術を過信し、自然への怖れが薄らいでいた面があったのでしょうか。太田さん 多くの方が「建物が

強固になり、崩壊による死者多発の被害は戦中・戦後で終わった。

日本から死者多発地震は消えた」と安全神話に近い思い込みをしていたのは事実です。私自身も、そうあって欲しいと思っていたことは確かです(静かに)。

日本は先進国になったので「死者多発の地震被害とは無縁」との考えが広がっていたのですね。

太田さん ええ。実は、私は二十年前から途上国の防災問題を手掛けていますが、地震で五百人、千人、時には一万人の死者が出る現実を見て「日本も途上国から学ぶべきことが多々ある」と折りに触れ話してもきました。

そうでしたか。阪神大震災の後、「ニューズウィーク」が「日本傲慢時代の終焉」と報じましたが、そのような警鐘を発したのは、研究者の中でも少数だったようですね。

太田 裕さん

おおた・ゆたか=1935年、愛知県生まれ。名古屋大学理学部地球科学科卒。同大学院理学研究科に進み63年、博士課程修了。東京大学助教授、北海道大学教授を経て89年、東京大学教授(地震研究所)。地震学、地震工学、地域防災計画学が専門。国際的に調査研究、教育に携わり、国際協力事業団のトルコ援助も。地震学会評議員、世界地震工学会議実行委員を歴任。70年から川崎市防災会議地震専門部会委員で「震災対策支援システム」を開発。東京都中野区在住。

太田さん ええ。ですから今回の地震は、私にとって二重三重のショックでした。あの地震発生以前は、死者五千人というのは「途上国でしかあり得ない惨事」と言うのが半ば常識だったのですから、特に地震研究者は自戒すべきです。そして、今後もあるような被害が、川崎を含めて、どこでも起こり得ることを忘れてはならないのです(きっぱりとした口調で)。

本当にむごい死でした。火災の怖さといひ。

太田さん それは地獄です。地震専門家という以前に、一個の人

も、命は取り返せないのです、人命を最優先にした対応策が、なによりも大事です(語気を強めて)。

今世紀の地震による死者はアメリカが千五百人、日本は十五万人、中国は五十万人です。

一九二三年の関東大震災で、十万人以上の方が亡くなられましたが、その後の地震で数万人が。

太田さん 四五年一月十三日の愛知県三河地震は震度6以上、時間が午前四時前、死者二千人強で、阪神大震災の状況に似た「先輩格」です。また、四八年の福井地震では四千人以上の方が亡くなり、近年の人命損傷で最もひどいものでした。その後は、八三年の日本海中部地震で百四人の方が津波で亡

命を守る「前・最中・後」の対応 市民自ら体を動かせ

間として感じました。ただ、死体検査書（医師の治療を受けずに死亡した人の死亡確認証明書）を書いた医者の話では、火が回る前に亡くなった方が多かつたようです。

——瓦礫の山から多くの人が救出されるテレビを見て、ほっとしましたが、倒壊した家屋での生存の可能性は。



太田さん 一般に木造は人に優しい揺れ方をします。折れた柱や梁に直撃されると即死しますが、神戸へ現地調査に出掛け、木造や鉄筋が石やレンガ造りより長く生きられる可能性が高いことを再確認しました。倒壊時、まず一階がつぶれ次に二階が壊れ二階トイレ

は最後まで残っていました。瓦礫の山のどこかに生存可能な空間、すき間が残っていました。

——倒壊イコール死ではないということですね。昔から「グラツキときたら、火の始末をして、食卓や机の下の空間に身を潜めると助かる」と言われてきましたが、そのことが証明された形ですね。

太田さん 厳しい壊れ方をするのは、途上国の住宅に多いレンガや石造りです。地震で生き埋めになり、二十四時間でその半数以上が亡くなります。ですから途上国の救援活動は、発生後の二十四時間以内が勝負なのです。

——今回の震災でも、救援・救急活動が遅れ、多くの助かる命も失われました。市民も行政も本気で震災対策を考え直さないと。

太田さん 「地震がきたらどうするか」だけでは、震災対策についての答えは見つかりません。事前の準備、揺れている最中、揺れ

が収まった直後の「前・最中・後」の三段階のきちんとした対応ができるかどうかのポイントです。

——「前・最中・後」のきちんとした対応が、いのちに直結すると（確認するように）。

太田さん 行政が必要な整備を進めるのは当然です。しかし、実際問題として市民が体を動かさないと話が始まらないんです。行政・市民の双方が、どこかでシエイクハンドすることで効果的防災ができるんです。この二つの観点から神戸を見ると、どちらも「ノー」でした（手振りを交えて）。

——神戸の「ノー」について、具体的にいいますと……。

太田さん 神戸では防災対応を前・中・後と考えていませんでした。行政も市民も「地震はこない」



椎野和枝さん

と樂觀というか、気楽に考えていたんです。ですから、神戸は行政、市民ともにノーだったんです。

——川崎を採点しますと。

太田さん ざつとくばらんにいつて行政はいま一歩、市民はまだまだです。川崎市は、全国の中でも相当早い一九六六年に「市防災会議地震震専門部会」を発足させ、調査研究を積み重ねてきました。しかし、それが行政によって具体化され、血肉になったかという点、

椎野 和枝 さん

しいの・かづえ=1934年、京都市生まれ育つ。同志社教育を経て、毛利菊枝演劇研究所卒。59年、NHK婦人学級京都府世話人になり、農村・都会の女性たちと交流し女性の生き方を見つめる。その後、広島女性史研究会に参加し「山陽路の女たち」(共著)を。80年から川崎に住み「女性の学習情報をつなぐ会」の「テキスト現代女性読本」(共著)や女性問題講座を手掛ける。91年から東洋大学特別研究会「21世紀の女性」や川崎の自主グループ「ぶらすI」のメンバーに。夫、二女と麻生区白山に在住。

女の生き方を見つめる

椎野和枝さんが聞く

世帯別地震安全性診断調査票

画期的な70項目の質問
役立つ判定は専門家がそこそこ
いま生かそう

必ずしもそうっていないんです。約三十年も前に地震専門部会をスタートさせたのに、うまくいってない？

太田さん 率直に言うと、基本的欠陥があると思います。防災は高い専門性が要求されますが、専門職がゼロなんです。最近では人事異動が多く、仕事の継続性が発足時に比べ機能ダウンしてないか心配です。防災の一翼を担う消防や警察、医療はプロ集団。仕事の内容が組織的に継承されています。

市の場合は、蓄積されてきたものが十分生かされていないと

太田さん それと、部局を超えてリーダーシップがとれる行政の横断性も不十分です。今度の大地震が刺激剤になって改善されるか、重要性をあまり認識しないままになるか……。市議会を意識してか「当面、なにをするか」に目がいつている感じもします。みせかけの論議や政策、対応になっては困

ります。地震への準備は長丁場なわけですから(淡々と)。

先生が話された本質的な視点や問題点に立って、学習していかない、現実に地震が起こった



時、大変なことになります。市民はなぜ「まだまだ」なのですか。

太田さん 川崎の地震専門部会が八八年に開発した「世帯別(地震安全性)総合診断調査票」を全世帯に配布したんです。これは最近、耳にする「わが家の耐震診断」みたいな中途半端なものではなく、総合性の高い内容なのです。建物の崩壊や家具・ブロック塀の転倒、火事に巻き込まれる危険性、家族

間の連絡など七十項目に及ぶ質問・調査内容です。そして、各世帯からの回答を電算機で処理し、「ここを直せば、安全性が高まる」などの総合的診断を行うのです(身振りを交えて)。

ほー。世帯別に七十項目もですか。そして専門家が総合的に安全性を診断して下さる。画期的なものがあつたのですね。その時の市民の反応は。

太田さん それが回収率はわずか〇・三%でした。その当時、「市民の防災意識はその程度か」と、正直なところ相当がつくりしました(首を横に振る)。

すみません。私も出した覚えがないんです(小声で)。阪神大地震で防災意識が高まったこの機会に、市が再度調査をして下さるといいですね。宝は生かさないと。他に市民がまだの理由は。

太田さん 数え上げればきりがありません(笑い)、川崎の自主防災組織は約九〇%の組織率ですが、実態が伴っていないんです。僕が札幌の公務員宿舎にいた時、防災訓練をしたんですが、被災経験のある人は真剣度が違いました。一人ひとりが自分の問題として参

加する、その気持ちが大事です。地震はいつ起こるか分からないので切実に欠け、防災訓練を「よそ事」みたいに思いがちですが、市民が地震の「前・最中・後」の対応をするためにも、積極的に参加しないと……。

太田さん 九月一日の防災訓練を、実のあるものにするのと同時に、訓練に参加しやすくする工夫をして、機会を増やすべきです。

ところで、先生が中心になって開発された「震災対策支援システム」は、国内外から注目され、今回の大地震の後、市民・企業・自治体の人が千人を超え、十数カ国が視察に来ています。

太田さん あのシステムは、地震発生後三分間で、被害の全容を予測し、対策指針を出すシステムで、昨年、市の第三庁舎の防災センターに設置されました。地震を観測し、川崎全域の震度分布を出し、それに自然・社会環境のデータをつなげて、「どこで、どういう被害が起こり、必要な対策は何か」の情報を出力させるのです。事の発端から十年を費やしました。開

発のきつかけは。

すこいシステムですね。開

太田さん 地震発生前後の対策は検討されていましたが、最中と直後の対策が課題でした。死者の発生を最少限に抑えるには、地震直後の一刻一刻の時間が貴重で、命そのものです。ロスタイムをなくし、素早く対応する必要性から生まれたシステムです。

開発の原点は人命の尊重。
太田さん 地震被害は自然・社会環境、個々の生活形態で大きく異なります。神戸でも断層を挟んで東側と西側で被害が著しく異なりました。川崎に大地震が襲ってきた直後に、詳細な被害状況を推定できれば、市の防災対策資源の人や消防車などを効率よく使えるのです。

とても心強いお話です。
太田さん あのシステムに類したものは全世界にないはずですよ。もっと胸を張っていいと思います。川崎に住んでいる私が、世界的な防災システムがあるとは知

りませんでした。いまからでも、川崎の防災の先進的な実態の広報と、「世帯別(地震安全性)総合診断調査票」の配布、回収をお願いしたいと思います。市民の防災意識の高揚が「大地震にも安心・安全なまち」づくりの基本だと思いますので。

太田さん おっしゃる通りです。PRに消極的なのは、行政に防災のプロがないことと、感性の問題があると思うんです。地震は滅多にこないのに、日常的にこのシステムを使った地震疑似体験や教育訓練をするといいいのですが。

それなら、若者も集まるのではないかしら。ところで、水の食料の備蓄や医療体制は、万全なのですか。

太田さん 市の地域防災計画に基づき対策が組まれています。超激甚災害は想定外で、あらゆる面を地道に吟味していくことが大事です。例えば乾パンは、年配者



や乳児に適さない非常食です。

——神戸では、水が止まり大震災になりましたが。

太田さん 耐震の水道設備になっていて消防水利は神戸より良いと思いますが、火災の同時多発となれば限界を超えます。自主防災組織の初期消火活動が重要です。

——市に注文したいことは……。

太田さん ぜひ、リーダーシップを発揮してほしいですね。「行政はこれだけ頑張っている。市民もこれだけはやってくれ」というキヤンペーンが非常に大事です。

——ところで、先生が地震工学に進まれたきっかけは。

太田さん 私は三河地震の被災者なんです。小学四年生でした。わら小屋の仮設住宅の中で、下から余震、上から米軍の爆撃という生活でした。それで、地震を勉強したと言えばカッコがいいのです

が、そうでもないんです(笑い)。
——本当のところは？

現実の社会に密着する 学問与えた川崎に感謝

太田さん 実家が農家で、子供の頃から土と親しみ、自然に囲まれた日々を過ごした影響からか、三十代初めまで地球物理学をやっていたのです。それがアメリカへ行って、すぐに役に立つ実際の学問が大事にされていることを知り

「アメリカに比べ、日本は非常に中途半端。論文で完結する学問でいいのか」と自問自答し、現実の社会に飛び込んでみようと思った矢先、川崎から地震専門部会委員のお誘いを受けたんです。

——市民生活の安全に直結する学問ですし、川崎への熱意をうれしく思います。

太田さん やりがいがあります。川崎にお役に立つことが少しはできたとしても、私が川崎から勉強させていただいたことの方がはるかに多いと思っています。

世界的な川崎の震災対策支援システム

瞬時に被害全容、対策が

行政の弱点は防災の専門職ゼロ

題字は高橋清・川崎市長

構成／野々川千恵子

文責／田中 園

はりきってます グループ紹介

「気軽に全身運動」の

幸パドルテニスクラブ

ゴルフやテニスもいいけれど、もっと日常的にできるスポーツを、と、「幸パドルテニスクラブ」の船木勉代表(67)ら二十一人は日本ではまだ少数派の「パドルテニス」を楽しんでいる。

毎週水曜の午前、会員は幸スポーツセンターに集合。さわやかな音楽に合わせて、ひざや手首を念入りにほぐすと、テニスのラケットにあたるパドルを持ち、コートに散る。羽根つきのように打ち合つてボールになれた後、大きくバウンドさせてラリーの練習。体育館の高い天井にボール、ボールとボールの音が響く。やがて会員の額に大粒の汗が光る。指導の加賀善弘さん(日本パドルテニス協会一級指導員)が「楽しく自由に」をモットーに、一球一球声をかける。目指すところにボールが飛びよふようにと会員の表情は真剣になる。それでも失敗や成功のたびに、舌を出したり喚声を上げたりとにぎや

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生き生きと。



無理せず楽しく 試合で緊張感も

メリカで生まれたリゾート型のスポーツ。子どもたちが、砂浜で板の切れ端を手にボールを打ち合つたのが始まりといわれる。ラケットが船のパドル(櫂)に似ていることからこの名が付けられた。

コートはテニスの約半分、木製のパドルはグリップが短かく、ひじにかかる負担も軽い。他のラケット競技に比べ、技術的にも体力

的にもやさしく、年輩者でも十分楽しめる。半面、上級者では格闘技ともいえるほどの激しいプレーになるという。

同会の発足は一九八六年。中原市民館の成人学校「中高年のスポーツ入門講座」の終了者が幸スポーツセンターで自主グループを作つた。その後、同センター主催の教室からも入会者があり「幸パドルテニスクラブ」と改称した。

卓球もする江森博子さん(52)は「全身運動なので意外とハード。初めはコートに入らなかつたり、ネットに引つ掛かつたり。ピシッとしまつた時は嬉しい」と照れる。三級指導員資格者、田中敏子さん(64)は「市のC級で優勝した時は感激しました。実力に応じてプレー出来るのがいい」と笑う。

船木代表は「時には試合で緊張感を味わいながら、生涯スポーツとして、無理せず楽しく続けたい」とにこやかに話す。

同代表宅は、中原区小杉御殿町一の九〇二。☎(733)1639。

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

①わくわく実験教室② やさしい先端技術講座◆東芝科学館①は7月8日(土)10時と13時から「電気と磁石のふしぎな関係」②は7月14日(金)10時と13時半から「バーチャルリアリティ技術」。参加無料。申し込みは☎(549)2200の同館。JR川崎駅からバス。

「市民健康セミナー」
「がん」はこわいか◆市中小企業婦人会館。7月22日(土)14時から大腸がんを中心に山村卓也・聖マリオンナ医科大学東横病院外科部長が講演。無料。同館は東横線武蔵小杉駅下車。問い合わせは☎(722)2121内線5222の同病院庶務課(主催)。

「歌声のひろば」◆県立高津青少年会館。7月6日、9月28日の毎週木曜19時から全13回。対象は青年。申

し込みは☎(844)2101の同館。

「地域消費者問題専門講座」◆県川崎消費生活センター。7月7日(金)と7月11、25日の毎週火・木曜10時から全6回。テーマは、現状からよりよい生活を創造する。自然災害、薬、住まい、輸入食品について学ぶ。見学会も。無料。2歳以上の託児あり。申し込みは☎(833)1231内線332の同センター。県高津合同庁舎内。

①植物観察の基礎②柿葉標本の作り方◆市緑化センター①は8月9日(水)②は8月11日(金)。時間は13時半から。無料。申し込みは①7月30日(日)②8月2日(水)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿原6の14の1、同センター☎(911)2177。

①初めてのハンガリー語②体の不自由な方のため

市外局番のないものは044

の着やすい服◆登戸ドレスメーカー学院①は7月22日(土)14時から。マジヤール民族の日常会話や文化、音楽、料理に触れる。講師は糸菜美子さん。受講料千円②は8月19、26日の土曜14時から。服を簡単に着られるようリフォーム。講師は栗田佐穂子・同学院教師。受講料は1回千円。申し込みは午前中に☎(911)2221の同学院。小田急線向ヶ丘遊園駅北口下車。

「和光大学市民講座」新聞を読む◆和光大学ばいでいあ。7月21日(金)10時から「新聞を通して見る市民生活と政治」。講師は原田清雄・同大学教授。同日13時から「新聞小説を読む」。墨東綺譚の読まれた。講師は塩崎文雄・同大学教授。▽22日(土)10時から「マールメディアとマスメディア」。講師は上野俊哉・同大学講師。同日13時から「オウム真理教事件とマスコミ報道」。講師は共同通信社の

松田博公さん。1回5百円、4回2千円。申し込みは往復はがきに希望の講座名、氏名、住所、電話番号を記し〒195町田市金井町2160、同大学開放係☎(988)1433。会場は小田急線鶴川駅前、鈴木ビル5階。

①アメリカと日本・アジアの中の日本。戦後50年を考える◆和光大学。7月8日(土)10時からシカゴ大学のノーマ・フィールド教授が「日米の戦後50年」を講演。13時からシンポジウム。「フェミニズムの戦後史」。アジアの留学生たち「アメリカの影・日本の影」について、井上輝子(女性学)・中生勝美(中国社会学)・文化論)三橋修(民族関係論)の先生が発題。無料。申し込みは、はがきに①、氏名、連絡先、電話番号を記し〒195町田市金井町2160、同大学学務室☎(989)7497。会場は小田急線鶴川駅下車。

「指圧健康法無料講座」◆高津市民館。8月16、30日の毎週水曜午前午後で全6回。講師は山口徳蔵指圧師。申し込みは☎(422)4882の山口さん。川崎実年ボランティアの会主催。

「洗足学園大学公開講座」創造的音楽療法入門◆洗足学園大学。8月1日(火)10時からビデオ、スライド、生演奏で音楽の力と人間の可能性を。講師はニューヨーク州立大学のクライブ・ロビンズ、キャロル・ロビンズ両博士。受講料4千円。申し込みは往復はがきに8月1日受講希望、住所、氏名、電話番号を記し〒213高津区久本2の3の1、同大学塩谷研究室☎(888)5091。武蔵溝ノ口下車(主催)。

「日本赤十字救急法講習会」◆県立川崎青少年会館。8月5、12日の土曜13時からと6、13日の日曜9時から全4回。災害時の救急法を。対象は16~40歳。教

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある



催し



材料費千五百円。申し込み☎(222) 5282の同館。

「夏休みイベント」◆東芝科学館①7月21日(金)②28日(金) 手作り乾電池。

対象は幼稚園、小学低学年。会費五百円②8月10日(木)③15日(火)ラジオ工作教室。対象は小学高学年。会費二千二百円③8月16日(水)④22日(火)ベル工

作教室。対象は小学生以上。会費六百円④8月25日(金)⑤29日(火)ブーメランづくり。対象は親子。参加無料。時間は①③④が10時と13時②が9時半と13時。申

し込みは☎(549) 2200の同館。川崎駅からバス。(写真は昨夏の工作教室・モーター自動車)

①人形劇②映画大会◆東芝科学館①は8月8日(火)30日(水)13時②は8月7日(月)8日(火)31日(木)の午前、午後の2回。無料。申し込みは☎(549) 2200の同館。

「映画生誕100年博覧会」◆市民ミュージアム①シネマの世紀。7月22日(土)②9月17日(日)。

日本映画の発達史をデッサンやポスターで。料金は一般七百円、小中高大生三百円②シネマとギャラリー。日程①と同じ。戦後の邦・洋画ポスターやポトレイト写真、藤子不二雄Aの映画体験再現コーナー③映画上映美術監督・久保一雄。7月22日(土)「妻よ薔薇のやうに」成瀬巳喜男監督。

「鶴八鶴次郎」同▽23日(日)「人情紙風船」山中貞雄監督。阿片戦争」マキノ正博監督▽8月5日(土)

「続姿三四郎」黒澤明監督「素晴らしき日曜日」同▽

6日(日)「或る夜の殿様」衣笠貞之助監督。「わかれ雲」五所平之助監督▽19日(土)「どっこい生きてる」今井正監督。「真昼の暗黒」同▽

20日(日)「太陽のない街」山本薩夫監督。「浮草日記」同▽26日(土)「黄色いカラス」五所平之助監督。「挽歌」同▽27日(日)「愛すればこそ」吉村公三郎・今井正・山本薩夫監督▽9月2日(土)「荷車の歌」同。「武器なき斗い」同▽3日(日)「松川事件」同。「乳房を抱く娘たち」同▽9日(土)「スパイ」同。「ドレイ工場」武田敦監督。上映開始は13時半、16時。料金(入れ替え制)一般五百円、小中学生三百円④7月30日(日)13時半、女優・倍賞千恵子さんと。下町の太陽(山田洋次監督)の上映。一般五百円、小中学生三百円▽倍賞と映画評論家・白井佳夫さんの対談。7月20日(木)9時半から電話で申し込み⑤「夏休み子供講座」動く映像の仕掛けづくりワークショップ。7月29

初めてふれるパソコン講座 I 受講者募集

- 日 時——9月12日(火)~14日(木)の午前10時~午後4時
- 場 所——市教育文化会館学習室(JR川崎駅東口下車、徒歩15分。バスあり)
- 対象・定員——市内在住在勤の30人(定員を超えた場合は抽選)
- 受講料——8000円。他に教材費1500円
- 使用機種——NEC PC9801DX-U
- 申し込み——8月18日(金)~25日(金)に☎(233) 6250の川崎市生涯学習振興事業団川崎分室(月曜休み)
- 問い合わせ

数十人の新人がピアノ・弦楽器・管楽器・打楽器・声楽を部門別で競う

かわさき新人音楽会公開オーディション

あなたのまちの音楽家の演奏を聴きにきませんか

- 日 時——7月16日(日)午前10時から開始
- 会 場——市教育文化会館大ホール(JR川崎駅東口下車、徒歩15分。バスあり)
- 入 場 料——無料
- 問い合わせ——☎(422) 3932の川崎市生涯学習振興事業団小杉分室・文化イベント事務局
- 主 催——川崎市教育委員会・川崎市生涯学習振興事業団

学習・文化情報

おもしろいイベントがある

「雑草展◆市緑化センター」8月8日(火)〜27日(日) 9時半。350種の草花を展示。同所は☎(9



30日、8月19日、20日の土・日曜14時。漫画、絵が動く驚き盤作り。対象は小学3年以上。受講料は1日500円。申し込みは7月18日(火) 9時半から☎(754) 45000の同所。
 ①高津サミット祭②親子人形劇のつどい◆県立高津青少年会館①は7月22日(土) 18時、お化け屋敷模擬店②写真は昨年。入場自由②は8月27日(日) 14時。対象は3歳以上で親子百人。申し込みは☎(844) 21001の同館。

「さいわい ごみカレット◆提根処理センターほか」8月22日(火) 10時「ごみ

1) 2177。
 「こども能楽鑑賞教室◆川崎能楽堂」7月23日(日) 13時、能の話とみんなで声を出す▽A・26日(水) B・8月30日(水)。仕舞、太鼓の能を体験▽9月3日(日) 13時から能楽鑑賞・殺石生。対象は小中学生で父母も可。受講料は3回3千円(能楽鑑賞の父母、鑑賞だけ希望は2千円)。申し込みは7月15日(土) までに往復はがきに住所、氏名、電話番号、学校名、学年、受講経験者は参加回数、A・Bのどちらかを記し〒210川崎区駅前本町12の1、川崎駅前タワー・リパーク3階、市文化財団☎(222) 8821。
 「市民天体観望会◆川崎授産学園」9月9日(土) 19時。名月、土星、秋の星座の天体観望、映画。参加自由。小学生以下は保護者同伴。雨、曇りは天文集會詳しくは☎(954) 5011の同園。

から身近な環境問題を体験する」と題し飯田和子・川崎・ごみを考える市民連絡会代表らの講座や環境ワークショップ▽23日(水) 9時、ごみ処理施設見学▽9月10日(日) 11時、リサイクル実践のため鹿島田フリーマーケットへ出店参加。参加費は保険代込み500円。さいわい・住民懇談会主催。申し込みは7月31日(月) までに、はがきに氏名、住所(親子で参加は学校・学年)、電話番号を記し〒211幸区南加瀬5の38の2の705、庄司佳子さん。
 「市民天体観望会◆市青少年科学館」7月15日(土) 19時半と8月5日(土) 19時。木星や星団を観望。雨、曇りはプラネタリウムで無料。小学生以下は保護者同伴。参加自由。☎(922) 4731の同館。

①夏休み理科相談室②さく葉標本の作り方③牛乳パックのはがき④日時計を作る⑤星座早見盤を作る◆市青少年科学館①は7月21日(金)と22日(土)②は23日(日)③は26日

「市民天体観望会◆市青少年科学館」7月15日(土) 19時半と8月5日(土) 19時。木星や星団を観望。雨、曇りはプラネタリウムで無料。小学生以下は保護者同伴。参加自由。☎(922) 4731の同館。

「市民天体観望会◆市青少年科学館」7月15日(土) 19時半と8月5日(土) 19時。木星や星団を観望。雨、曇りはプラネタリウムで無料。小学生以下は保護者同伴。参加自由。☎(922) 4731の同館。

(財)川崎市生涯学習振興事業団設立5周年記念コンサート **好評前売り中**

ヴァレンティン・エルベン チェロ・リサイタル

—— 世界一の実力と人気をもつアルバン・ベルク弦楽四重奏団チェリスト ——



9月19日(火) 午後6時半開演

洗足学園前田ホール (南武線武蔵溝ノ口下車)

出演 ヴァレンティン・エルベン(チェロ) 竹内祥子(ピアノ)
 曲目 ベートーヴェン：チェロソナタ第2番作品5の2ト短調
 ストラヴィンスキー：イタリア組曲 ほか

※ 曲目は変更する場合があります。ご了承下さい。

入場料 2,500円(全席指定)

●お申し込み 当事業団新百合ヶ丘本部 ☎952-5000 同川崎分室 ☎233-6250
 ●問い合わせ 同小杉分室イベント担当 ☎422-3932

主催 / 川崎市生涯学習振興事業団・川崎市教委 後援 / 洗足学園大学

学習・文化情報

魅力的な催しがある

(水)④は27日(木)⑤は8月1日(火)。時間は①④⑤が9時②③が10時。申し込み①不要②③7月18日(火)④19日(水)⑤20(木)9時から☎(922)4731の同館。
 「夏休み理科教室◆秋川ほか」①7月25日(火)秋川で「川虫I」。10時にJR五日市線武蔵増戸駅集合②27日(木)、生田緑地で「丘陵の地層探検」。10時半、市青少年科学館集合③28日(金)、多摩川宿河原えん堤で「夕方の多摩川を楽しむ」動物編。16時にJR登戸駅集合④29日(土)30日(日)生田緑地で「地層、地質を調べる」。10時半に市青少年科学館集合⑤8月15日(火)、登戸付近の多摩川で「川虫II」。10時、登戸駅集合。対象は小学生以上。無料。申し込みは①7月18日(火)②③19日(水)④20日(木)⑤8月1日(火)9時から☎(922)4731の同館。

「かわさき市美術展作品募集」洋画▽日本画▽書道▽写真▽工芸▽彫刻▽立体造形。要項は7月中旬に各区役所・出張所、市民館、図書館で。問い合わせは☎(200)3305の市教委文化課。
 「子ども広場◆県立川崎青少年会館」7月8日、22日の土曜10時。卓球、遊び▽8日(土)10時、囲碁。14時、ギター▽22日(土)10時、将棋、字をきれいに書く。対象は小学～高校生無料。室内靴、卓球はラケットを。申し込みは☎(222)5282の同館。
 「夏休み工作◆県立川崎青少年会館」8月20日(日)13時、身近な材料でおもちゃ、筆立てを。対象は小学生。無料。申し込みは☎(222)5282の同館。
 「かわさき市民5000人「第九」コンサート合唱団員募集◆教育文化会館、高津市民館」9月1日(金)から毎週火・金曜18時半練習開始。申し込み7月10日(月)からはがきに住所、氏名、年齢、電話番号、歌うパート、希望会場、第九経験の有無を記し〒210川崎区宮本町6、市教委文

施設使用料改定のお願い

常日ごろ、新百合21ビル地下2階(小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩2分)の多目的ホールなどの施設をご利用下さりありがとうございます。さて、同使用料は平成3年2月より今日まで据え置いてまいりました。平成8年1月1日から次の通り料金を改定させていただくことになりました。大変、心苦しい次第でございますが、ご賢察のうえよろしくお願い致します。

平成7年7月1日

(財)川崎市生涯学習振興事業団

施設区分	多目的ホール	会議室(1・2)	研修室(1~3)	控室(1)
定員・広さ	490人 568㎡	20人 82~86㎡	21~30人 34~45㎡	37㎡
午前	9,000円	4,500円	2,000円	1,500円
午後	14,000円	6,500円	2,500円	1,500円
夜間	17,000円	8,500円	3,000円	2,500円
延長	5,100円	2,500円	900円	700円
全日	40,000円	19,500円	7,500円	5,500円

- 使用時間は午前9:00~12:00 ▽午後13:00~17:00 ▽夜間17:30~21:00 ▽延長21:00~22:00 ▽全日9:00~21:00
- 問い合わせは ☎044(952)5000の川崎市生涯学習振興事業団

学習・文化情報

魅力的なステージがある

ステージ

化課内第九実行委。詳しくは☎(200)3305の文化課内第九実行委。

「ハンガリー・カンテムス少年少女合唱団演奏会◆エポックなから」7月18日(火)18時開演。曲目は「コダーイ」「エジエテム・ベジエテム」▽バルドシユ「ヘンルーダの花がさいたら」▽日本の歌「会津磐梯山」「ほたるこい」他。指揮はデーネシユ・サポー。ピアノはユリア・サントー。入場料は全席自由前売り2千500円。問い合わせは☎(866)4506のタウンライフ。

「洗足学園大学管弦楽団定期演奏会◆洗足学園前田ホール」7月11日(火)18時半開演。指揮は秋山和慶。曲目は穴戸睦郎同大学教授「交響曲」▽マーラー「交響曲 第一番ニ長調」。入場料千円。会場は溝ノ口駅下車。問い合わせ☎(877)3211の同大演奏部。

「夏休み親と子の音楽鑑賞会◆会館とどろき」7月26日(水)14時半から。世界の珍楽器のアンサンブル「むげん」コンサート。申し込みは7月3日(月)9時から☎(733)3333の同館。JR南武線武蔵小杉駅からバス。

「定期能◆川崎能楽堂」7月8日(土)第一部12時半開演。能「杜若」、狂言「呂蓮」▽第二部15時半開演。能「阿漕」、狂言「井杭」。出演は梅若六郎、三宅右近。仕舞は角当行雄。入場料3千円。前売りは☎(222)7995の同能楽堂。問い合わせは☎(222)8821の文化財団。

「夏休み親と子の音楽鑑賞会◆会館とどろき」7月27日(日)18時半開演。曲目は、百万本のバラ他。ピアノ・小林ちから、ベース・広瀬正之。入場料一般3千円、70歳以上無料。前売りは☎03(3430)3858の花輪音楽事務所。会場は溝ノ口駅下車。

「夏休み人形劇のつどい◆県立川崎青少年会館」8月27日(日)13時半から。小学2年生以下の子と親。参加無料。申し込みは☎(222)5282の同館。

「夏の人形劇場」高校生と児童文化活動発表会◆大和市保健福祉センター」7月28日(金)10時と13時から。県内高校生が影絵、パネルシアター、紙芝居を発表。入場無料。申し込みは☎045(241)3131内線3211の県立青少年センター(主催)児童文化課。会場は小田急江ノ島線鶴間駅下車。

スポーツ



(555)3001の同所。

「暑中げいこ◆石川記念武道館」7月21日(金)、22日(土)10時、剣道▽14時、なぎなた▽18時、空手道、少林寺拳法、柔道、合気道23日(日)10時、剣道、柔道、合気道▽13時、なぎなた、空手道、少林寺拳法。申し込みは7月9日(日)10時、直接来館☎(544)0493。

「太極拳初心者講習会◆富士通ゼネラル体育館ほか」同体育館で7月3日▽9月11日(14日を除く)毎週月曜▽市とどろきアリーナで8月20日▽10月22日毎週日曜。9時半から全10回。会費4千円、保険料千300円。無極天生健身会主催。申し込みは☎(822)6944の瀬野さん。

「市武術太極拳協会合同練習会◆幸スポーツセンター」7月30日(日)9時半講習会▽ねりんピック'94しまねの選手による表演。問い合わせは☎(811)5700の同協会(主催)。

①スポーツコーナー利用講習会②夏休みスポーツ

①トレーニング講習会②健康体力相談◆幸スポーツセンター」①は9月2日▽来年3月2日の1月を除く毎月第一土曜。トレーニングの基本的な考えや器具の使い方②は7月8▽22日の毎週土曜▽9月9、16日の土曜▽10月14、28日の土曜。体力測定をしてアドバイス。相談無料①②とも16時。使用料大人1200円、学生600円。申し込みは☎

ギャラリー

クラブ◆県立川崎青少年会館」①は7月21日(金)と8月5日(土)18時半、ウエイトトレーニングの基本と利用法。対象は16歳以上。保険料千300円②は8月15日(火)▽19日(土)10時全5回。ポール・マツト運動。対象は小学2・3年。保険料400円。申し込み☎(222)5282の同館

「ギャラリー幸」7月14日(金)▽19日(水)パリ祭展▽7月28日(金)▽8月9日(水)海の展。同所は☎(555)8181。JR川崎駅西口下車。

「ギャラリー華沙里」7月11日(火)まで安喰虎雄、海老原富夫、鶴田猛、永島勝介の薫風四人展▽7月13日(木)▽25日(火)、内田信、石川忠一、小山内益郎、藤田淳子、山寺重子の異質の座標▽7月27日(木)▽8月8日(火)前田泰昭、上原一郎の器と藍染めの朱夏展。同所は☎(954)2333。新百合ヶ丘駅下車。

学習・文化情報

見たい絵画がある

「画廊ランブ屋」7月5日(水)〜15日(土) 斎藤祐一ガラス展。森と水をテーマに、あかりと器の吹きガラス展。写真▽7月28日



(金)〜30日(日) 工房赤いふうせん・染めと手織りもの展。同所は☎(945)4416 稲田堤駅下車。「会館とどろき」7月5

日(水)〜10日(月) 歯の衛生に関する図画・ポスター作品展。市教委主催▽13日(木)〜19日(水) 幸・中原区中学校生徒作品展。美術科研究部会主催▽20日(木)〜8月1日(火) 同館講座子ども絵画・書道展。教職員互助会主催▽8月26日(土)〜31日(木) 紫墨会展。根岸敏夫主催。同所は☎(733)3333 武蔵小杉駅からバス。

「中村正義の美術館」7月23日(日)まで中村正義の顔・顔展▽9月2日(土)から中村正義の常設展。同所は☎(953)4936 読売ランド前駅下車バス。「アートガーデンかわさき」7月4日(火)〜9日(日) ちぎり絵趣味の会展▽11日(火)〜16日(日) 浮世絵展▽18日(火)〜23日(日) あみかる絵画部展▽25日(火)〜30日(日) 青山照又・It's your world▽25日(火)〜30日(日) 瀬崎電彦書作展▽8月1日(火)〜6日

(日) 心に刻むアウシユヴイツ展▽22日(火)〜27日(日) かわさき平和美術展▽29日(火)〜9月3日(日) 村杉克彦きりえ展。問い合わせは☎(222)8821 川崎駅東口、駅前タワー・リパーク3階。「かわさきIBM市民文化ギャラリー」7月6日(木)〜8月5日(土) さまざまな眼 17森田松孝展。同所はJR川崎駅下車、IBMビル2階。問い合わせは☎(222)8821の市文化財団。

「ミニ画廊喫茶」7月1日(土)〜29日(土) 佐藤愛子ちぎり絵展▽8月1日(火)〜26日(土) 周沢澄江組みひも展。同所は☎(544)0507 鹿島田駅下車。

◆お断り 編集後記、ミニニュース、読者の声は休みます。学習・文化情報のタイトルなどを簡素化した箇所があります。次号の発行は9月1日です。

川崎音楽文化連盟創立3周年記念

愛のチャリティー市民コンサート

世界的プリマドンナ E・オブラスツォワ

ピアノ ヤン・ホラーク (メゾプラノ)

日時 7月10日(月)午後6時30分 開演

会場 エポックなかはら(JR南武線武蔵中原駅前)

入場料 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000

曲目 リムスキー=コルサコフ: たなびく雲も晴れ渡り ▽チャイコフスキー: 春まだ浅いころ ▽マスネ: 歌劇「ウェルテル」より「流れよ、涙」 ▽サン=サーンス: 歌劇「サムソンとデリラ」より「愛よ、わたしに力を貸して」 ▽ビゼー: 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」 ▽「恋は野の鳥」 ▽ヴェルディ: 歌劇「トロヴァトーレ」より「炎は燃えて」 ほか

前売り ☎03(5237)9990のチケットぴあ
☎044(952)5000の川崎市生涯学習振興事業団
☎044(233)6250の同事業団川崎分室(市教育文化会館4階)

●問い合わせは☎044(811)6701の川崎音楽文化連盟

主催/川崎音楽文化連盟 共催/川崎市教育委員会 財川崎市生涯学習振興事業団

—地域に根ざす若き音楽家たち—

KCPサマーコンサート

7月17日(月) 新百合トゥエンティワンホール
— 入場無料 — (小田急線新百合ヶ丘駅下車新百合21ビル)

ファミリーコンサート

- ◇ 16:00 ~ 17:30
- ◇ くるみ割り人形
ディズニーメロディー ほか

名曲アルバムコンサート

- ◇ 19:30 ~ 21:00
- ◇ タイスの冥想曲・小犬のワルツ
ドビツシーの小組曲 ほか

※開場は30分前です

- 出演 KCP(神奈川クラシックプレイヤーズ=かわさき合奏音楽会オーティション合格者の会)
石井孝治(フルート) 梶 ひとみ(ピアノ) 小枝利法(歌・司会) ほか
- 申し込み (財)川崎市生涯学習振興事業団・同事業団川崎分室(情報コーナー)の窓口で整理券を配布しています。どちらも先着300人
- 問い合わせ 同事業団小杉分室(文化イベント事務局) ☎ 422-3932
- 主催 KCP 共催 (財)川崎市生涯学習振興事業団

創立25周年記念

ゆりがおか児童合唱団第19回定期演奏会

- ◆日 時— 8月26日(土)
午後4時30分開演
- ◆会 場— 麻生文化センターホール
(小田急線新百合ヶ丘駅前)
- ◆合 唱— ゆりがおか児童合唱団
コール リーリエ
- ◆演 出— 石井かほる
- ◆振り付け— 石井かほる
- ◆指 揮— 山田榮子
- ◆ピ ア ノ— 西山淳子
- ◆曲 目— ルネッサンスの合唱曲▽林光先生の作品から「だいじなさがしもの~世界のなぞ
なぞより」(同児童合唱団1990年委嘱作品) 「星めぐりの歌~宮沢賢治作」
(童声合唱編曲初演・同合唱団25周年記念委嘱)▽リチャード・ロジャース作曲、
青島広志編曲「サウンド オブ ミュージック」



- ◆入 場 料— 全席自由 1,000円
- ◆前 売 り— 京浜楽器、プレイガイドテイト (エルミロード4F)
- 問い合わせ 奥原☎044 (955) 9983、小池☎044 (955) 6152
- 主催 ゆりがおか児童合唱団 ●後援 川崎市、川崎市教委、川崎市生涯学習振興事業団

今年も科学館がおもしろい!

主なイベント

- わくわく実験教室 (第2土曜日)
- サイエンスショー (第4土曜日)
- やさしい先端技術講座 (年6回)
- 各種工作教室 その他

見て
さわって
体験する



館内はコンパニオンが分りやすく
ご案内します。

東芝科学館

〒210 川崎市幸区小向東芝町1 ☎044-549-2200

ぜいたく
贅沢しませんか? 日常生活で……

わが家でプロのマッサージと健康によい水

モミモミ タタキ
宥 けんせい 聖



布地/丸編み
EP575F (ベージュ)
標準価格 175,000円(税別)

医療用具番号63日1997

- ①こぶし感覚のタタキマッサージ。
- ②強力ポイントもみ付。

タタキパイプ



EV278 標準価格 11,000円(税別)

- ①速さ調節でタタキ、振動が選べます
- ②速度運動型パワーコントロール付
- ③指感覚のフィンガーアタッチメント付



ナショナル
アルカリイオン整水器

ミストピア

TK737-W(白)
標準価格 110,000円(税別)

快適を科学するナショナル製品が 格安で

カタログのご請求
お問い合わせ

☎ 044-954-4154

(株)ヒューマンテック
コーポレーション

〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306

●発行
(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)50000代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350
編集人・田中 園